

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

**株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス**（証券コード: 7532）

## 【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
劣後ローン格付	A-
発行登録債予備格付	A+

## ■格付事由

- ディスカウントストア（DS）のドン・キホーテ、総合スーパー（GMS）のユニーなどを傘下に擁する持株会社。24/6期第2四半期末の店舗数は、国内がDSを中心に619店舗（23/6期末比2店舗増）、海外が米国のほか、シンガポールや香港などアジアで104店舗（同3店舗増）となっており、店舗網が着実に拡大している。グループ会社と営業、財務、人事面で強い一体性を有しており、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- 業績は好調に推移している。現場への権限委譲、商圏の顧客ニーズや外部環境の変化への迅速な対応により、店舗競争力が強化されている。PB/OEM商品の売上増のほか、DS事業ではインバウンド需要の取り込み、GMS事業では販管費コントロールなどにより、両事業ともに業績を伸ばしている。中期的な業績拡大に向けては、海外事業の収益力強化がポイントとみている。財務構成については改善の余地があると考えている。従来よりも高水準の設備投資が予想されるものの、キャッシュフロー創出力の向上などにより、中期的に財務構成を良化させていくことは可能とみられる。以上より、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- DS事業では、PB/OEM商品の拡販や免税売上の伸長に向けた取り組みが進み、業績拡大が見込まれる。GMS事業では、価格訴求やMD戦略の強化が既存店売上高の改善につながっていくかフォローしていく。海外事業では、現地製造のPB/OEM商品の拡充のほか、アジアでは日用消耗品などノンフードカテゴリーの拡大、米国では惣菜や寿司の取り扱い強化を図っている。これら業績改善への取り組みによる成果を注視していく。
- 24/6期の売上高は2兆700億円（前期比6.9%増）、営業利益は1,300億円（同23.5%増）と増収増益が続く計画である。DS事業が訪日外国人客の増加、言語対応可能な従業員の増強による免税売上高の拡大、粗利益率が高いPB/OEM商品の販売の伸びなどにより、業績を押し上げる見込み。24/6期の設備投資は、国内DS事業や海外事業を中心に増加する計画である。今後も、国内および海外の店舗網拡充など事業拡大に向けて、従前よりも積極的に実施されるとみられる。ただ、キャッシュフローの動向からみて、有利子負債の削減が進むと予想される。

（担当）上村 暁生・大塚 浩芳

## ■格付対象

発行体：株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス

## 【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第11回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2016年3月10日	2026年3月10日	0.73%	A+
第12回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2017年3月21日	2024年3月21日	0.39%	A+

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第14回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2018年3月8日	2028年3月8日	0.48%	A+
第16回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年3月7日	2026年3月6日	0.350%	A+
第17回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2019年3月7日	2029年3月7日	0.450%	A+
第18回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	400億円	2021年10月21日	2026年10月21日	0.130%	A+
第19回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100億円	2021年10月21日	2028年10月20日	0.250%	A+
第20回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	300億円	2021年10月21日	2031年10月21日	0.400%	A+
第21回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	240億円	2023年11月9日	2026年11月9日	0.440%	A+
第22回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	380億円	2023年11月9日	2028年11月9日	0.733%	A+
第23回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	50億円	2023年11月9日	2030年11月8日	0.993%	A+
第24回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	30億円	2023年11月9日	2033年11月9日	1.316%	A+

対象	借入額	実行日	弁済期日	利率	格付
劣後ローン	1,000億円	2017年7月3日	2067年7月3日	(注)	A-

(注) 実行日から2027年7月の利払日（同日を含まない）までの利息期間においては3ヶ月日本円TIBORに当初スプレッドを合計した利率、2027年7月の利払日（同日を含む）以降に開始する利息期間については3ヶ月日本円TIBORに当初スプレッドおよび1.00%のステップアップ金利を合計した利率による変動金利。

対象	発行予定額	発行予定期間	予備格付
発行登録債	2,000億円	2023年9月14日から2年間	A+

## 格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2024年2月29日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信  
主任格付アナリスト：上村 暁生
3. 評価の前提・等級基準：  
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014年1月6日)として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：  
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2024年2月1日)、「小売」(2020年5月29日)、「持株会社の格付方法」(2015年1月26日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003年7月1日)、「ハイブリッド証券の格付について」(2012年9月10日)として掲載している。
5. 格付関係者：  
(発行体・債務者等) 株式会社パン・パシフィック・インターナショナルホールディングス
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：  
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。  
なお、本件劣後ローンにつき、約定により許容される利息の支払停止が生じた場合、当該支払停止は「債務不履行」に当たらないが、JCRでは債務不履行の場合と同じ「D」記号を付与することとしている。  
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。  
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
  - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
  - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：  
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：  
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

## ■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果的正確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

予備格付：予備格付とは、格付対象の重要な発行条件が確定していない段階で予備的な評価として付与する格付です。発行条件が確定した場合には当該条件を確認し改めて格付を付与しますが、発行条件の内容等によっては、当該格付の水準は予備格付の水準と異なることがあります。

## ■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

## ■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL: 03-3544-7013 FAX: 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.  
信用格付業者 金融庁長官(格付)第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル